

## (1) 浴室まわりの不具合事例(図解)

※ は特に要注意箇所

### 機器類

- |                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| [B01] 広すぎる浴室への設置により暖房、乾燥能力不足         | [C02] 天井裏の空間高さが足りない。梁や下がり屋根に干渉する。照明に干渉する |
| [B02] 機器のがたつき・脱落・落下等                 | [C03] 換気風量が確保できない                        |
| [B03] 設置上の不具合・対策不十分による漏電・不動作         | [C04] 脚立をそのまま立てて、UBの洗い場に傷を付ける            |
| [B04、C14] 取り付けネジの不足(一部取付け忘れ)で振動が発生   | [C05] 工具を落下させてタイルを割る                     |
| [B05、C06] 開口寸法が大きくビス位置が悪く、ビス周辺にひび割れ  | [C13] 暖房配管の行き帰り誤接続による音なり                 |
| [B09] 専用配線がされていない。配線は手ヨリ接続になっていたため過熱 | [C16] 熱源機との信号線が短く、抜け落ち・誤配線不動作            |
| [B11、C15] 温風吹き出し方向が浴室壁側に向いている        | [C17] フロントパネル・フィルターが汚れる                  |
| [B14] 誤配線不動作                         | [C18] リモコンの養生シートの取り忘れによる操作部のシワ           |
| [B15、C07] 100V機種に200Vを印加したため不動作・損傷   |  |
| [B17] 換気量・乾燥能力不十分                    |  |

### 全体

- |   |
|---|
| [A01] 収まらない(寸法が合わない、搬入できない)(設計図と寸法が異なり、搬入できない、設置できない) |
| [A20] 引渡し物の不足(取り扱い説明書・保証書、UB扉鍵)                       |
| [A22] 準備不足、やり直し、出戻り工事による工期遅延                          |
| [A25] UB据付設置後の事後工事での配慮、養生不足による破損                      |

### 怪我(PL) 関連

- |                                |
|--------------------------------|
| [A17] 浴槽の位置ずれ、ガタツキ、傾きによる転倒事故発生 |
| [A18] 怪我やけど事故発生                |

### 漏水(配管) 及び排水不良

- |                           |
|---------------------------|
| [A07] トラップ及び排水管からの漏水      |
| [A08] 洗い場排水の引きが悪い         |
| [A09] 浴槽排水の引きが悪い          |
| [A10] 浴槽の水がたまらないまたは抜けてしまう |
| [A11] 水栓金具接続部からの漏水        |
| [A23] 追い焚き不良、循環金具からの漏水    |
| [A24] 給水、給湯管、排水管からの漏水     |

### 点検口

- |                                  |                              |
|----------------------------------|------------------------------|
| [B06、C08] 天井工事の鉄の切粉が装置に吸込まれ浴槽に落下 | [C12] 給水接続部が抜け、天上面に水が溜まり水滴落下 |
| [C01] 天井開口の位置・開口寸法が合わない          |                              |

### ダクト

- |                                  |                                    |
|----------------------------------|------------------------------------|
| [B07、C09] 排気ダクトが未取り付けで天井排気になっていた | [B13、C11] 本体直近でダクトを曲げたためダンパーが開閉しない |
| [B08] ダクト貫通部を伝わり雨水が進入            | [B16] ダクト接続部の外れにより天井内排気になっていた      |
| [B12、C10] 排気ダクトのつぶれにより乾燥が不良      |                                    |

### 内装仕上不良

- |  |
|--|
| [A02] 壁・天井の仕上げ不良                               |
| [A03] UB内各器具のガタツキ(シャワーフック、タオル掛、補助テスリ、水栓金具、ミラー) |
| [A04] カウンターに水がたまる                              |
| [A19] 仕上げ材のキズ(原因不明のキズ)の判明                      |
| [A21] 錆の発生                                     |

- |  |
|--|
| [B10] 外部(トイレ等)スイッチの結線間違いにより動作不良、スイッチ焼損 |
|--|

### 建てつけ不良

- |                             |
|-----------------------------|
| [A05] 床(防水パン)のきしみ、床鳴り       |
| [A06] 出入り口サッシの開閉不良、レールへの水溜り |

### 漏水(防水)

- |                         |
|-------------------------|
| [A12] 器具などの取り付け穴からの水漏れ  |
| [A13] 防水パン床連結部、点検口からの漏水 |
| [A14] 床、壁パネルの配管貫通部からの漏水 |
| [A15] ドア枠取り合い部からの漏水     |
| [A16] 窓サッシまわりからの漏水      |

[確認項目表]

(1) 浴室まわり [A] 浴室ユニット

不具合例は、ユニットバス据付設置関連以外の設計・他工事に関連する不具合例も含まれている。キーワードは事象又は原因を示す。

[A \* \*] の番号は、不具合事例（図解）の図中の番号と対応している。

なお、 [A \* \*] のように下線のあるものは、重複記載の不具合を示す。

[ユニットバス据付設置要因] 注）当項目表は、一般的な事例であり、メーカー、UB機種、現場状況により異なります。

注）検査・確認時期の（○）は、必要に応じて実施、あるいは実施するのが望ましい項目を示す。

不 備 が あ る 場 合 の 不 具 合 例			検 査 ・ 確 認 事 項		検 査 ・ 確 認 時 期				備 考	
					据 付 設 置 時		完 成 時			
要因・時期	キーワード	不具合例	検 査 ・ 確 認 内 容	検 査 ・ 確 認 方 法 ・ 判 定 方 法	据付設置前	据付設置中	据付設置後	試運転時		
計画・設計	レイアウトミス	[A01] 収まらない(寸法が合わない、搬入できない)	● 設置条件を満たした商品選定(高さ、ワイド,出入り口蹴込み寸法、梁寸法)、設計レイアウト	● 商品仕様、図面の収集、確認の上図面化	○					
			● 給排水、電気、ダクトなど設備取り合い寸法の確保した設計	● 商品仕様、図面の収集、確認の上図面化	○					
据付設置前準備	取り合い・据付設置段取りミス	[A01] 収まらない(設計図と寸法が異なり、搬入できない、設置できない)	● 設置条件を満たす各所要(搬入経路、UB据付まわり) 寸法が確保されているか 現場責任者とUB施工者による施工図面による各部収まり・搬入路などの確認	● 寸法測定、各所要(搬入経路UB据付まわり) 寸法が確保されているか、施工図面、目視、採寸による相互確認	○				元請業者・建築責任者立会いによる確認	
据付設置中	UB内装仕上げ不良	[A02] 壁・天井の仕上げ不良	● 壁パネル・天井パネルの段差・ズレの有無	● 目視、触手による検査確認		○				
			● 壁のキズ、割れ、凹みの有無	● 目視、触手による検査確認		○			据付設置前部材確認、据付設置後養生の徹底	
		[A03] UB内各器具のガタツキ(シャワーフック、タオル掛、補助テスリ、水栓金具、ミラー)	● 器具は堅固に締め付けられているか	● 施工時の下地確認、触手による検査確認			○			
			● 水平に設置されているか、取り付け金具の締め付け確認	● 目視、水平器による検査、取り付け金具確認			○			
	建てつけ不良	[A05] 床(防水パン)のきしみ、床鳴り	● 床ボルトの固定確認(ロックナット、接着剤)	● 乗ってみる、水平器による確認。目視		○				
		[A06] 出入り口サッシの開閉不良、レールへの水溜り	● 開閉確認、ラッチ作動確認	● 水平器による床パンのレベル確認、枠ビスは緊結確認			○	○		
	漏水(配管)及び排水不良	[A07] トラップ及び排水管からの漏水	● トラップ及び排水管の取り付け接続・接合は適切かつ完全か	● 目視・(トラップ部の締め付けトルク確認)(水張り試験)・触手による検査確認			○			
		[A08] 洗い場排水の引きが悪い	● 排水管の勾配はとれているか、トラップの芯ズレ、斜め設置がないか確認	● 測定・目視・触手による検査確認			○			
		[A09] 浴槽排水の引きが悪い	● 浴槽レベル出しスペーサーが未固定等、異物が排水トラップを塞いでいないか	● 目視による確認			○			
		[A10] 浴槽の水がたまらないまたは抜けてしまう	● 浴槽排水栓の止水状態は正常か	● 目視(水張り)、浴槽排水栓の止水性能目視確認			○			
		[A11] 水栓金具接続部からの漏水	● 水栓金具、接続フレキ管部の締め付け確認	● 工具による締め付け確認、触手による検査確認			○			
	漏水(防水)	[A12] 器具などの取り付け穴からの水漏れ	● 取り付け穴処理部分の確認	● 目視、触手による確認			○	○		
		[A13] 防水パン床連結部、点検口からの漏水	● 連結部、点検口部のシーリング、パッキン検査確認	● 目視、触手による確認			○			
		[A14] 床、壁パネルの配管貫通部からの漏水	● 壁、床パネルの配管貫通部処理の確認	● 目視、触手による確認			○			
		[A15] ドア枠取り合い部からの漏水	● ドア枠下端と床パンのシーリング確認	● パッキン、シーリングが切れてないか触手、目視により確認			○			
		[A16] 窓サッシまわりからの漏水	● 窓サッシと継ぎ枠部シーリング確認	● パッキン、シーリングが切れてないか触手、目視により確認			○			
	怪我(PL)関連	[A17] 浴槽の位置ずれ、ガタツキ、傾きによる転倒事故発生	● 壁パネルに浴槽取付金具がレベルを守り堅固に締め付けられているか、また浴槽フランジがしっかりかかっているか	● 目視、加重、触手による検査確認			○			
		[A18] 怪我やけど事故発生	● 付属の注意ラベルが所定の位置に添付されているか	● 目視、打合せ確認			○			
据付設置後・完成時	完成確認時トラブル	[A19] 仕上げ材のキズ(原因不明のキズ)の判明	● 壁のキズ、割れ、凹み浴槽、床パン、アクセサリ類のキズの有無	● 目視、触手による検査確認				○	搬入時荷受時の確認、据付設置後養生の徹底、(電気・ダクトなど)事後工事時の土足厳禁(建築管理者による厳格管理)	
		[A20] 引渡し物の不足(取り扱い説明書・保証書、UB扉鍵)	● 所定の位置に引渡し物が揃えて保管されているか、鍵は施錠され建築管理者に渡っているか	● 目視による確認				○	引渡し物の管理方法を建築管理者と確認	
試運転	引渡しまでの事故苦情	[A21] 錆の発生	● 浴槽、床パンまわりのもらい錆の有無確認、排水トラップ、水栓金具ストレーナに加工くずが残っていないか	● 目視、ヘアーキャッチャー、ストレーナ清掃確認				○	UB据付設置後の清掃、養生の徹底	

[UB据付設置以外の要因]

業者間連携等	工期遅延	[A22] 準備不足、やり直し、出戻り工事による工期遅延	●工事区分（事前工事、ユニット据付設置、事後工事）の責任明確化、工程の明確化	●建築側とUB据付設置側の事前打ち合わせ、現場確認	○				
	付帯工事故	[A23] 追い焚き不良、循環金具からの漏水	●循環金具が正規な物か、取り付け、接続部の確認	●目視、触手により検査確認				○	
		[A24] 給水、給湯管、排水管からの漏水	●給水・給湯管排水管の接続確認	●目視（通水、加圧ポンプによる検査）確認				○	（設備業者工事）
	UBキズ、破損	[A25] UB据付設置後の事後工事中の配慮、養生不足による破損	●UB据付設置終了時の検査以後に発生 of キズ・破損の旨を確認	●発生時には建築側とUB据付設置側により現場確認				○	

[その他情報] 建設業法等の法律の適用、各種資格の適用

- 水道工事は、関連する法令、法規にしたがって、必ず有資格者が行ってください。
- 排水管については、付帯短管（投影面で浴室ユニットをでるまで）の組み立ては、浴室ユニット据付設置作業に入るが、そこから下流側の排水管との接続は設備工事側（管工事資格者）が行ってください。
- 照明その他の電源接続を含む工事は、電気設備工事基準、内線規定など関連する法令、法規にしたがって必ず電気工事の資格を有するものが適切な方法でおこなってください。

[確認項目表]

(1) 浴室まわり [B] 浴室暖房乾燥機（電気式）

不具合例は、施工関連以外の設計・他工事に関連する不具合例も含まれている。キーワードは事象又は原因を示す。  
[B\*＊] の番号は、不具合事例（図解）の図中の番号と対応している。  
なお、 [B\*＊] のように下線のあるものは、重複記載の不具合を示す。

[計画・設計、施工要因] 注）当項目表は、一般的な事例であり、メーカー、機種、現場状況により異なります。 注）検査・確認時期の（○）は、必要に応じて実施、あるいは実施するのが望ましい項目を示す。

不 備 が あ る 場 合 の 不 具 合 例			検 査 ・ 確 認 事 項		検 査 ・ 確 認 時 期				備 考
要因・時期	キーワード	不具合例	検 査 ・ 確 認 内 容	検 査 ・ 確 認 方 法 ・ 判 定 方 法	施 工 時			完 成 時	
					施 工 前	施 工 中	施 工 後	試 運 転 時	
計画・設計	機種選定	[B01] 広すぎる浴室への設置により暖房、乾燥能力不足	●指定の適用浴室サイズに合った機種を選定したか	●取付工事説明書、建築・設備図面確認	○				
施工前準備	設置不具合	[B02] 機器のがたつき・脱落・落下等	●本体取付部の強度は確保されているか	●目視、建築・設備図面確認	○				
			●機器の設置場所、排気ダクトの材料は取付工事説明書どおりか	●目視 ●取付工事説明書、建築・設備図面確認	○				
		[B03] 設置上の不具合・対策不十分による漏電・不作動	●電源、配線、配管等の接続位置は適正か ●湿気の多いところに取り付ける場合の漏電ブレーカー、アース接続が確保されているか	●点検口から目視	○				
施工中	振動	[B04] 取り付けネジの不足（一部取付け忘れ）で振動が発生	●本体ビス固定はメーカー指定の方法か	●触診		○			
	ひび割れ	[B05] 開口寸法が大きくビス位置が悪く、ビス周辺にひび割れ	●本体は天井等に堅固に固定されているか	●触診		○			
	切粉・ゴミ落下	[B06] 天井工事の鉄の切粉が装置に吸込まれ浴槽に落下	●本体内部に鉄切子、ごみが残っていないか ●施工前に周囲が清掃されているか	●本体内部及び点検口から外観を目視		○			
	排気不良	[B07] 排気ダクトが未取り付けで天井排気になっていた	●ダクトは、適切に接続され、堅固に固定されているか	●目視、触診		○			
	雨水浸入	[B08] ダクト貫通部を伝わり雨水が進入	●ダクト貫通スリーブと壁のシーリングは適正か	●目視＋水準器		○			
			●ダクトは外に下がり勾配になっている事を確認する	●目視		○			
	過熱・焼損	[B09] 専用配線がされていない。配線は手ヨリ接続になっていたため過熱	●専用回線の電気接続が規程どおりにされているか（電気設備の技術基準や内線規定に従って安全・確実に行う）	●点検口から目視		○			
		[B10] 外部（トイレ等）スイッチの結線間違いにより動作不良、スイッチ焼損	●外部スイッチの配線・結線は取付工事説明書どおりか	●点検口から目視 ●取付工事説明書確認		○			
施工後・完成時	風向不良	[B11] 温風吹き出し方向が浴室壁側に向いている	●本体からの吹き出し方向は正しいか(吹き出し口を洗い場に向ける)	●外観目視		(○)	○		
	乾燥不良	[B12] 排気ダクトのつぶれにより乾燥が不良	●ダクト途中に変形や、つぶれた箇所はないか（禁止工事：極端な曲げ・多数の曲げ・吐出口すぐそばでの曲げ・しばり・フレキシブルダクトのS字配管）	●点検口から目視		(○)	○		
	排気不良	[B13] 本体直近でダクトを曲げたためダンパーが開閉しない	●ダクト曲部に逆流防止ダンパーが接触していないか	●点検口から目視		(○)	○		
試運転	不作動	[B14] 誤配線不作動	●リモコンの配線接続は正しいか	●作動確認		(○)		○	
		[B15] 100V機種に200Vを印加したため不作動・損傷	●100V200Vの配線違いはないか	●電圧確認		(○)		○	
	排気不良	[B16] ダクト接続部の外れにより天井内排気になっていた	●ダクト接続部に外れや、漏気、結露はないか	●作動確認				○	
			●運転時に異常音や振動はないか ●スイッチ操作に対し正しく動作するか	●聴診				○	
	風量・温度不良	[B17] 換気量・乾燥能力不十分	●風量・温度は正常な値か	●簡易風量確認 ●温度測定				○	

[施工以外の要因]

業者間連携等	雨水浸入	[B08] ダクト貫通部を伝わり雨水が進入	●ダクト貫通スリーブと壁のシーリングは適正か	●目視＋水準器		○			
			●ダクトは外に下がり勾配になっている事を確認する	●目視		○			

[その他情報] 建設業法等の法律の適用、各種資格の適用

- ビルや集合住宅等の場合、給排気機器の設置自体が管工事に該当すると解釈され、有資格者でなければ工事できません。
- 外壁貫通事前工事（型枠入れ、スリーブ入れ等）は、建設躯体工事に入るため、建築工事業者側と打ち合わせ事前に施工してもらってください。
- コンセント利用以外の配線接続工事は電気工事に該当します。既設のアース端子への接続を除く、いわゆる接地工事は電気工事士でなければ施工できません。

[確認項目表]

(1) 浴室まわり      [C] 浴室暖房乾燥機（温水式）

不具合例は、施工関連以外の設計・他工事に関連する不具合例も含まれている。キーワードは事象又は原因を示す。  
[C\*\*] の番号は、不具合事例（図解）の図中の番号と対応している。  
なお、 [C\*\*] のように下線のあるものは、重複記載の不具合を示す。

[計画・設計、施工要因]      注）当項目表は、一般的な事例であり、メーカー、機種、現場状況により異なります。      注）検査・確認時期の（○）は、必要に応じて実施、あるいは実施するのが望ましい項目を示す。

不 備 が あ る 場 合 の 不 具 合 例			検 査 ・ 確 認   事 項		検 査 ・ 確 認 時 期				備      考
要因・時期	キーワード	不具合例	検 査 ・ 確 認 内 容	検 査 ・ 確 認 方 法 ・ 判 定 方 法	施 工 時			完 成 時	
					施 工 前	施 工 中	施 工 後	試 運 転 時	
計 画 ・ 設 計	施工不能	[C01] 天井開口の位置・開口寸法が合わない	●開口寸法の確認	●計測	○				
		[C02] 天井裏の空間高さが足りない。梁や下がり屋根に干渉する。照明に干渉する	●天井裏の空間高さの確認・離隔距離の確認	●計測	○				
	換気不良	[C03] 換気風量が確保できない	●ダクト径、ダクト長が設計どおりか	●ダクト工事業者に確認	○				
施 工 前 準 備	浴室の傷・破損	[C04] 脚立をそのまま立てて、UBの洗い場に傷を付ける	●洗い場の養生を行った上で、施工すること。脚立の脚にはカバーをすること	●目視にて確認	○				
		[C05] 工具を落下させてタイルを割る			○				
	施工不能	[C01] 天井開口の位置・開口寸法が合わない	●天井開口寸法、位置は正しいか	●点検口からの目視・測定	○				
施 工 中	破 損	[C06] 開口寸法が大きくビス位置が悪く、ビス周辺にひび割れ	●開口寸法は適切か	●計測	○				
			●ビスは締め付けすぎでないか	●触診		○	○		
		[C07] 100V機種に200Vを印加したため不作動・損傷	●100V200Vの配線違いはないか	●電圧確認		○	○	○	
	汚 れ	[C08] 天井工事の鉄の切粉が装置に吸込まれ浴槽に落下	●本体の内部に鉄切子、ごみが残っていないか	●点検口から目視		○	○		
	換 気 不 良	[C09] 排気ダクトが未取り付けで天井排気になっていた	●ダクトは堅固に固定されているか	●目視		○	○		
			●ダクトの抜けはないか	●触診				○	
		[C10] 排気ダクトのつぶれにより乾燥が不良	●換気口から空気を吸っているか	●触診または計測					
			●ダクト途中に変形や、つぶれた箇所はないか	●点検口から目視			○		
	[C11] 本体直近でダクトを曲げたためダンパーが開閉しない	●ダクト曲部に逆流防止ダンパーが接触していないか	●点検口から目視				○		
	水 漏 れ	[C12] 給水接続部が抜け、天上面に水が溜まり水滴落下	●給水配管・温水配管の接続にゆるみはないか	●目視		○	○		
			●継手部からの水の染み出しはないか						
	異 常 音	[C13] 暖房配管の往き返り誤接続による音なり	●温水循環配管の往き返り管の誤配管はないか	●目視		○	○		
			●運転時に異常音はないか	●聴診				○	
	振 動	[C14] 取り付けネジの不足（一部取付け忘れ）で振動が発生	●本体ビス固定はメーカー指定の方法か	●触診		○			
	性能不良	[C15] 温風吹き出し方向が浴室壁側に向いている	●本体からの吹出し方向は正しいか	●外観目視			○		
	不作動	[C16] 熱源機との信号線が短く、抜け落ち・誤配線不作動	●リモコンの配線接続は正しいか	●作動確認		○	○	○	
施 工 後 ・ 完 成 時	汚 れ	[C17] フロントパネル・フィルターが汚れる	●フロントパネルに養生シートを張っておく	●目視				○	
		[C18] リモコンの養生シートの取り忘れによる操作部のシワ	●養生シートをとること	●目視				○	
試 運 転	異常音	[C13] 暖房配管の往き返り誤接続による音なり	●運転時に異常音や振動はないか	●聴診			○	○	
	破 損	[C07] 100V機種に200Vを印加したため不作動・損傷	●100V200Vの配線違いはないか	●電圧確認		○	○	○	
	換気不良	[C09] 排気ダクトが未取り付けで天井排気になっていた	●換気口から空気を吸っているか。風量は適正か	●触診または計測				○	

[施工以外の要因]

業者間連携等									

[その他情報] 建設業法等の法律の適用、各種資格の適用

- 〔建設業登録について〕浴室暖房乾燥機における温水配管接続、ダクト接続は管工事に相当。該当する工事業登録が必要です。
- 〔関連する工事資格について〕コンセント差込み以外の電源接続は電気工事に相当しますので、電気工士が工事を行ってください。